



平成 26 年 11 月 14 日

各 位

上場会社名 ラサ工業株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 庄司 宇秀  
 (コード番号 4022)  
 問合せ先責任者 取締役経理部長 永戸 正規  
 (TEL 03-3278-3892)

## 平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 15 日に公表しました平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）の業績予想値と、本日公表の同実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異 （平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,800	350	150	130	1.64
実 績 値 (B)	10,492	449	312	280	3.54
増 減 額 (B-A)	△308	99	162	150	
増 減 率 (%)	△2.9	28.3	108.0	115.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	10,283	400	257	232	2.93

#### 2. 差異の理由

##### 第 2 四半期累計期間

当第 2 四半期連結累計期間における日本経済は、原材料価格の上昇や世界経済の減速懸念を内包しながらも、経済対策効果、雇用環境の改善などを背景に、消費税増税後の反動減から緩やかな回復基調にありました。

このような環境の中、化成品事業は、半導体向け高純度磷酸の販売が好調であったことから、損益は予想より大幅に上回りました。機械事業は、破碎関連機械が、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減による部品販売の減少と、プラントの延期などがあったことから、収益が予想を下回りました。電子材料事業は、化合物半導体向け高純度無機素材が、商品市況の厳しさが増したことから、損益は予想より下振れいたしました。また、石油精製用触媒の再生事業は、販売が一部前倒しとなったことから収益が予想を上回りました。このため、前回業績予想に対しまして上記のような差異が発生いたしました。

##### 通期業績

今後の見通しといたしましては、国内経済は、経済対策、金融政策を背景に、引き続き内需を中心に底堅く推移するものと思われませんが、一方で世界経済は、米国経済の好調は続くものの、欧州、中国・新興国経済の減速は鮮明になっており、また、地政学的リスクも依然予断を許さないものがあります。このため、

経済の先行きは強い不透明感を内包していると思われま

す。このような見通しの中、化成品事業は、半導体向け高純度リン酸の販売は好調が続くものと見込んでおりますが、円安進行による原料価格の高騰のため、損益が圧迫されることが予想されます。機械事業は、下水道関連の掘進機が海外向け販売を中心に好調に推移するものと予想しております。電子材料事業は、依然商品市況の軟調が続いているため、厳しい状況が予想されます。また、石油精製用触媒の再生事業は、販売が一部上期に前倒しとなったため大幅減益を見込んでおります。

このため、業績予想につきましては、第2四半期累計期間の損益は計画を上回って推移しておりますが、事業環境の先行きに多くの不透明要素があるため、業績予想の見直しは行っておりません。

以 上